



「未来づくり」の取り組みを深化させ、JR産業の魅力を向上しよう！

2023年 3月 6日

日本鉄道労働組合連合会

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会

2023 春季生活闘争勝利3. 2 総決起集会

キーワーカーとしてふさわしい賃金・労働条件を確立しよう！

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会は、3月2日、田町交通ビルで「キーワーカーとしての矜持を胸に、今こそ！社会的役割にふさわしい賃金と労働条件を確立しよう！」をスローガンに、「2023 春季生活闘争勝利3. 2 総決起集会」を開催した。



住野議長あいさつ

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った住野敏彦議長は、今次闘争を取り巻く環境や交通運輸・観光サービス産業の現状について触れ、「持続可能な交通運輸・観光サービス産業の実現にむけては、魅力ある賃金・労働条件の確立が不可欠。今次闘争では、キーワーカーとして働く仲間の賃金・労働条件をその社会的役割にふさわしい水準へと引き上げるべく、構成組織が一丸となって力強い運動を展開し、最後まで全力で闘い抜こう」と力強く述べた。



清水事務局長あいさつ

来賓として連合から清水秀行事務局長が出席。清水事務局長は挨拶で、「今次闘争では積極的な『人への投資』のもと、サプライチェーン全体で産業基盤強化を図り、持続的な成長と分配の好循環を実現し、日本経済・社会のステージを変えなければならない。全ての構成組織が課題認識を共有し、『未来づくり春闘』の取り組みを深化させよう」と呼びかけた。

続いて、交運労協の慶島譲治事務局長より、「①離職防止と人材の確保、②産業間の格差是正、③産業の将来的な持続可能性、④コロナ禍前の賃金水準への復元、⑤物価高騰に対する生活防衛、⑥産業内の格差是正」の6つの視点にもとづく交運労協2023 春季生活闘争方針や「地域公共交通活性化再生法の改正」・「物流クライシス（2024 年問題）」をはじめとした当面する政策課題について提起があり、参加者全員で課題認識を共有するとともに今後の取り組みにむけて意思統一を図った。



慶島事務局長 提起

その後、構成組織を代表して、運輸労連、サービス連合、自治労・都市交評、全自交労連の代表者4名により今次闘争にむけた決意表明が行われた。

最後に、集会宣言を全体で確認した後、住野議長の団結がんばろうで、交運労協に結集するすべての仲間が2023 春季生活闘争勝利に向けて、一丸となって力強い運動を展開し、最後まで闘い抜くことを確認し合った。

